

2019年度

自己評価・学校関係者評価結果報告書

評価対象期間

自：2019年4月

至：2020年3月

令和2年6月

学校法人村上学園

サンデザイン専門学校

学校関係者評価委員会

1. 2019年度学校関係者評価委員会

矢澤 謙一 科学技術学園高等学校 名古屋分室長

大野 治彦 大野治彦税理士事務所

竹内志保 株式会社るぼぜ 代表取締役

本校評価委員

山田 敏雄 理事長・校長

飯田 邦彦 専門課程主任

2. 学校の教育目標

どんな社会情勢の変化にも対応しうる幅広い一般教養を身につけ、豊かな人間性を持った専門業界で活躍できる人材育成をめざす。

本年度に定めた教育目標

- ・ 個々の学生の能力・個性を把握し、的確な指導を行なうことにより、専門技術の修得を目指す。
- ・ 主体的に課題に取り組み問題を解決する能力を育て、時代のニーズに対応できる人材を育成する。
- ・ コミュニケーション能力を育て、社会を生きるために必要な能力を育てることを目指す。

3. 評価項目の達成を呼び取組状況

1) 教育理念・目標

評価項目	評価			
学校の目標・育成人材層を定めているか	④	3	2	1
学校の職業教育の特色は明確か	④	3	2	1
社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・学生・関係業界・保護者等に周知がなされているか	4	③	2	1
・各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	③	2	1

【課題】

就職状況や検定、コンテストなど一定の成果を得られているが社会のニーズは多様化しており、変化の対応が必要である。

【改善方策】

各分野の専門的知識や技術の向上はもちろんだが、それだけでなくビジネスマナー、コ

コミュニケーション能力といった、社会の変化に対応できるカリキュラムを編成する。

2) 学校運営

評価項目	評価			
目標等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	④	3	2	1
人事、給与に関する規程等は整備されているか	④	3	2	1
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	③	2	1
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	③	2	1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1

【課題】

自己評価及び、学校評価の結果から改善と情報公開を適正に公開していく。

【改善方策】

学生らの能力向上を図るため、学校運営の充実と改善を実践していく。

3) 教育活動

評価項目	評価			
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	③	2	1

【課題】

学生の就職意欲を向上させるため、より実践的キャリア教育の充実が求められる

【改善方策】

ビジネスマナー、ビジネス実務といったカリキュラムから就職意識を向上させ、資格、検定取得にむけた環境を整え、より実践的な職業教育を目指す。

4) 学修成果

評価項目	評価			
就職率の向上が図られているか	4	③	2	1
資格修得率の向上が図られているか	④	3	2	1
退学率の低減が図られているか	④	3	2	1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1
卒業後のキャリアアップ形成への効果を把握し、学校教育活動の改善に活用されているか	4	③	2	1

【課題】

就職率は一定の成果が見られるが、さらなる向上が必要であり自己分析、履歴書指導、面接指導が必要である。

【改善方策】

学生の能力に合わせた指導が必要であり、教員全体での情報の共有、指導方針の協力体制の強化を目指す。

5) 学生支援

評価項目	評価			
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	③	2	1
学生の生活環境への支援は行なわれているか	4	③	2	1
保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1
高等学校・専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行なわれているか	4	③	2	1

【課題】

健康管理などの体制は良好であるが、保護者の生活困窮による学生の経済的負担が深刻である。

【改善方策】

就学支援金を最大限に活用し、学業に専念できる環境を目指す。

6) 教育環境

評価項目	評価			
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	③	2	1
学内外の実習設備、インターシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	③	2	1
防災に対する体制は整備されているか	4	③	2	1

【課題】

施設・設備の経年変化への対応策。

【改善方策】

随時、計画的に対応し円滑な運営を目指す。

7) 生徒の受け入れ募集

評価項目	評価			
高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか	4	③	2	1
学生募集活動は、適正に行われているか	4	③	2	1
学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	4	③	2	1
学生納付金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

【課題】

見学会、学校説明、学校案内の配布など、PR活動のさらなる強化が必要である。

【改善方策】

インターネット介したPR方法など、広報活動を拡充する。

8) 財務

評価項目	評価			
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	②	1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	③	2	1
財務について会計監査が適正に行われているか	4	③	2	1
財務情報公開の体制整備はできているか	4	③	2	1

【課題】

小規模校ならではの生徒数の増減による財政の安定化が今後の課題である。
 近年は高等課程からの進学者も安定し、また高等学校等への広報誌等の配布の効果もあり
 増員傾向にあるが今後さらなる募集活動を行い学生数の安定化をはかる。

【改善方策】

課題でもあるようにまだまだ本学の存在が周知されていないと思う。
 さらなる広報活動を実施し本学の魅力を伝える。

9) 法令順守

評価項目	評価			
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	③	2	1
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	③	2	1
自己評価結果を公開しているか	4	③	2	1

【課題】

SNSの活用が広がる中、個人情報の運用が重要する

【改善方策】

個人情報の重要性を教員全員が認識し、慎重な運用を遵守すし学校外への持ち出しを一切禁止する。

学生の写真等の掲載には、本人の確認を必ず取る。

10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価			
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	③	2	1
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	③	2	1
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	③	2	1

【課題】

夏には学校を開放し、子供向け講座を開講し社会貢献を行なっている。

【改善方策】

学生がより社会貢献をしやすい環境を、作品展などをつうじ提供していく。

